

会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回小金井市民交流センター運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和4年8月29日(月) 18時00分～19時45分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎8階 801会議室		
出 席 委 員	小林真理委員長 村越桂子副委員長 亀田奈美子委員 橘田功委員 桑谷哲男委員 小林勉委員 中原和樹委員 八木原良貴委員		
欠 席 委 員	伊東正示委員		
事 務 局	小金井市 コミュニティ文化課長 河田京子 コミュニティ文化課主任 武田麗子 コミュニティ文化課主任 津端友佳理		
オブザーバー	市民交流センター指定管理者 1 野村不動産パートナーズ株式会社 施設管理マネージャー 原田亮 2 サントリーパブリシティサービス株式会社 館長 早川浩史 支配人 岡本由紀子		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		傍聴者数	0人
会 議 次 第	(1) 前回議事録の報告		

	(2) 令和3年度事業報告について（報告） (3) 令和4年度事業の状況について (4) その他
会 議 結 果	別紙のとおり
会 議 要 旨	別紙のとおり
提 出 資 料	(1) 会議録（前回議事録） (2) 令和3年度小金井市民交流センター事業報告書 (3) 次第書

#### 1 議題へ入る前にオブザーバーから説明

- (1) 人事異動に伴う紹介を行った。

#### 2 議題へ入る前に事務局から、説明

- (1) 市職員の人事異動に伴う紹介を行った。
- (2) 事前配付資料の確認を行った。
- (3) 本協議会の根拠規定、所掌事項、指定管理の経過、会議の運営について事務局から、説明を行った。

#### 3 前回議事録の報告

事務局から、議事録を確定し、ホームページに掲載したことを報告した。

#### 4 令和3年度事業報告について

冒頭に指定管理者から、令和3年度事業について報告の後、協議した。

- ・委員から、決算報告書中の収支差額に損失補填は含まれているのかという質問。  
→事務局から、含まれていると回答。
- ・委員から、損失補填額はどのように算出しているかという質問。  
→事務局から、臨時休館等で生じたキャンセル分から算出している。施設利用料は実績から、附帯料金は過去利用分を基に試算していると回答。
- ・委員から、ワクチン接種会場として使用された際、何かトラブル等があったかと

いう質問。

→事務局から、調整が難しかった方もいるが、別日に振り替えていただく場合とキャンセルして返金させていただく場合の二通りの対応をした。

→委員から、この件について、指定管理者から、連絡をもらったが、市からまず連絡をすべきではないかという意見。

→委員から、このような緊急事態に直面した際の対応を、市と指定管理で事前に協議しておいた方が良いのではないかという意見。

・委員から、決算額の人件費が赤字となっているのは何故かという質問。

→指定管理者から、人件費は、ワクチン接種会場での対応として、時間外が発生したことによるが、その分の人件費はいただいており、収入へ計上している。支出としては赤字の表記となると回答。

・委員から、収支差額で黒字となっている分の扱いはどうなったのかという質問。

→事務局から、成果配分とするか現在協議中と回答。

・委員から、芸術文化公演事業と市民芸術振興事業という区分は市で指定しているものなのかという質問。

→指定管理者から、市から指定されていると回答。

→委員から、指定管理の5年という期間の中で、公立文化施設での役割のようなものが変わってくる場合もある。この2つの枠組みには当てはまらないようなものもあるかと思うので、そうした時に柔軟に対応できるようにした方がいいのではないという意見。

→指定管理者から、原則は5カ年の計画に沿って運営をしているため難しいこと。次年度以降のものであれば多少は調整できる可能性があること（予算、内容次第）。計画外の要望等は追加予算をいただいたり（文化振興計画遂行のための追加予算等）、指定管理業務外として別途委託していただいたり（別自治体で市主催の市民参加音楽イベントの実績あり）する方法であれば柔軟に対応できる可能性が広がると回答。

・委員から、落語の来場者数が少ないようだがそれは地域性なのかという質問。

→指定管理者から、9月の落語公演については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、収容率50%で実施した。いつもであればほぼ満席となっていると回答。

- ・委員から、練習室の稼働率が高いが、他の施設で稽古場や練習室になるような所はあるのかという質問。

→事務局から、集会施設や公民館等を利用目的によっては利用可能と思われる。音楽のように大きい音を出す場合は難しいと回答。

→委員から、ホールを予約できない方に、他の施設を案内した方が良いのではないかと。学校を借りられるようにする等、練習できる場所を増やすことを検討してほしいという意見。

- ・委員から、提携公演はあるのかという質問。

→指定管理者から、提携公演という形ではやっていない。やらないというわけではなく、該当しそうなものがないため実施に至っていないと回答。

- ・委員から、共同主催というのは、どのような内容でやっているのかという質問。

→指定管理者から、施設の予約や運営サポートをしていることが多い。運営費は主催側が負担することが殆どであると回答。

→委員から、共催ではなく、提携公演で何かサービスをする方が利益も上がる公演があるのではないかとこの意見。

→委員から、同じ事業（主催事業）を毎週、毎月のように定期的に行うのはどうかという意見。

- ・委員から、オープン時から現在までスタッフの人数は変わっているか、協定書で人数は決まっているのかという質問。

→指定管理者から、スタッフの人数は大きく変わってはいないが、状況に応じてアルバイト要員を増やすことはある。協定書で人数はきまっていないと回答。

- ・委員から、授乳室が場所的に使いづらいため、どうにかならないかという意見。

→指定管理者から、授乳スペースの新規導入を検討したが、費用面でのやりくりが難しそうであること、また、望ましい設置場所が無いことから、断念。大規模

修繕の際に提案できればと考えていると回答。

- ・委員から、チケットのオンライン購入をもっと簡単にできるようにはないかという意見。

→指定管理者から、検討すると回答。

- ・委員から、照明がハロゲンランプであるが、LEDに変える方が節省エネになるのではないかという意見。

→指定管理者から、LED化の提案は市にしているが、緊急性の高いものから予算化されているため、実施に至っていないと回答。

→委員から、市民のニーズ等に応じていくには、予算をつけなくてはいけない。市が検討してほしいという意見。

- ・委員から、市民ギャラリーの照明位置が自由に変えられないため、作品に光が当たらないという意見。

(補足：照明は全て取り外しができ、位置も変更は可能である。すべての照明を一から設置するのは時間がかかり大変であると、市民からの要望が多かったため、あらかじめ一部を設置する運用としている。)

- ・委員から、照明機材の移動も利用者が行うが、附帯設備で追加料金を払い、人をつけてもらうようなことはできるのかという質問。

→指定管理者から、シルバー人材センターに利用者から直接依頼してもらうようお願いしていると回答。

## 5 令和4年度事業について

指定管理者から、令和4年度事業の状況について説明した。また、事務局から、令和4年度の開館状況について報告した。

- ・委員から、大ホールと聞くと大規模なホールであると勘違いしてしまうため、名称を変えるのはどうかという意見。

## 6 その他

- ・事務局から、第2次小金井市芸術文化振興計画推進委員会の委員が決まったことを報告。